



栃木県文化功労者

上野憲示氏・重原道雄氏



栃木県では、毎年、県の文化の振興に著しく貢献した方を栃木県文化功労者として表彰しています。令和2年度は、美術評論、芸術文化振興の分野で上野憲示氏、書道の分野で重原道雄(重原聖鳥)氏が受賞されました。これを記念して、県立図書館が所蔵する資料の中から氏の著作や論文等を中心にご紹介します。

うえの けんじ

■上野 憲示 氏

1948年大阪生まれ。東京大学文学部美術史科卒。元栃木県立美術館学芸員。宇都宮文星短期大学教授に就任。現在、文星芸術大学名誉学長、学校法人宇都宮学園理事長。著書・監修に『小杉放菴の俳画手本』『おもしろ日本美術Ⅰ』『おもしろ日本美術Ⅱ』など。

(『世界に誇る日本美術史 最高の教養を身につける』(上野憲示／著 徳間書店 2019)から)

●著書

書名	請求記号	資料コード
世界に誇る日本美術史 最高の教養を身につける	702.1/261	1106296518
おもしろ日本美術 マンガ、アニメ、映画の源流 1	702.1/181/1	1105816365
おもしろ日本美術 Kakiemon 2	702.1/181/2	1105799785

●美術書の解説執筆

小杉放菴の俳画手本 奥の細道	T721/16	1102072509
日本絵巻大成 6 鳥獣人物戯画	721/273/6	1101748034

●雑誌記事・論文

記事・論文名	雑誌名	ページ	請求記号
「信貴山縁起絵巻」について	栃木県立美術館紀要 5	p.3-25	T706/2/5C
新資料紹介／上野記念館蔵「伊勢物語貼交屏風」	文星芸術大学大学院研究科論集 No. 2(2007)	p.01-10	T050/87/2
新連載／鳥羽僧正のマンガ 1 鳥羽僧正のマンガ 2	しもつけの心 第23号 しもつけの心 第24号	p.30-31 p.24-25	1401

しげはら みちお しげはら せいちょう

■重原 道雄 (重原 聖鳥) 氏

慈眼寺の43代住職。大正大卒。金子鷗亭(かねこおうてい)氏(文化勲章)に師事。作新学院高教諭として書道教育に尽力、全日本高校書道教育研究会副会長、県書道連盟会長など歴任。下野書道会設立に奔走するなど本県書道界をけん引した。

(「県文化功労者／上野さんと重原さん表彰」(下野新聞 2020年11月12日5面)から)

●作品(新聞掲載)

作品名	備考
「曉花」 (縦135センチ、横25センチ)	(書家コメント)秋、大和の古刹(こさつ)を詣で、聖地の紅葉に心を癒やされこの句を筆に託す。 「第25回栃木の書壇50人展／8～17日／東武宇都宮百貨店」 (下野新聞 2020年2月6日21面)
「一茶の句」 (縦135センチ、横24センチ)	(書家コメント)新型コロナウイルスに右往左往する昨今。天の川を眺望、気分を明るくしたい思い。 「第45回下野の書展／下野書壇代表の出品作品」 (下野新聞 2020年8月31日19面)

●栃木県の書道界について

網掛け

の資料は館内でご覧ください

書名	編著者名	請求記号	資料コード
創立50周年記念誌	栃木県書道連盟50周年記念誌編集委員会	T728/24/50	1104116395
書道部会誌 第23号	栃木県高等学校教育研究会書道部会／編	T370.5/90/23	1104643828
栃木県書道四十年のあゆみ	七海水明／他編	T728/24	1103328017

本リストの資料はすべて3階地域資料室の展示コーナーにあります。
本リスト以外にも資料があります。資料検索でお調べいただくか、職員にお尋ねください。

